



平成31年3月14日
小田原市立東富水幼稚園
園長 久保寺 佳香

すみれさん 卒園おめでとございます!

春の暖かい日差しを待ちわびていたかのように、園庭のチューリップや年長さんの育てたスイセンが、ぐんぐん大きくなりました。園庭の桜のつぼみも少しずつ膨らみ始め、幹が桜色に色づいているかのように見えます。明日は、いよいよ卒園式ですね。

大切なお子さまを幼稚園に初めて預けていただいた日から2年間。暑い日も、寒い日も、雨の日にも…、優しい笑顔で送り出していただきありがとうございました。毎日一緒に通った日々は、お子さまにとっても“一生の宝物”となることでしょう。

保護者の皆様のおかげでこの日を迎えられることを心より感謝いたします。

＜幼稚園教育目標＞
心身ともに健康で人間性豊かな
子どもの育成



東富水幼稚園では、次の3つの姿をもつ子どもを
＜目指す子ども像＞として、育成に努めてきました。

- 健康で明るい子
- 思いやりのある豊かな子
- 自分で考え行動できる子

子どもたちの園生活の様子は【幼稚園のホームページ】で
紹介しています。【小田原市立東富水幼稚園ホームページ】
を検索してください。

心のバトンをつなげよう!

すみれ組での生活もあと数日という日に、ひよこ組と一緒に出掛けたおわかれ散歩。今まで一緒に過ごしてきた年少組とペアになって幼稚園生活最後の散歩に出掛けました。

当日は、なんとなくどんよりとした肌寒さを感じるような曇り空でしたが、すみれ組の子どもたちは、酒匂川の土手を吹く冷たい風でさえ吹き飛ばしてしまうかのような笑顔で、ひよこ組をしっかりとリードし“しらさぎ広場”までの長い道のりをがんばって歩きました。

そして、「はい、どうぞ!」という教師の掛け声とともに、群れをなして飛んでいく鳥たちのように広場に駆け出していく子どもたち。その姿を追ってみると、どの子も年長児らしく優しく声を掛けたり面倒を見たりしながら、ペアになったひよこ組と一緒に遊ぶ姿が見られ、たくましく成長した姿をととても嬉しく思いました。



また、遊具も何もない、でこぼこの芝生の山（子どもたちは“でこぼこ山”と呼んでいます。）では、気の合った友達や先生と一緒に、何度も何度も上のほうから転がって、全身を芝生だらけにしていました。下に降りると顔を見合わせて大笑い！「もう一回やろう！」とみんなで駆け上がっていきます。目が回って立てなくなるのではと思うほど何度も繰り返し楽しんでいました。



時を忘れ夢中になって遊び込む姿の中に、幼稚園が目指す子どもの姿があると実感しました。

厳しく寒い冬の風もいつの間にか和らぎ、春の訪れを感じさせる日差しの中、みんなの笑顔がキラキラと輝いて見えました。

みんなちがって みんないい！

♪あかひをつけましょ ほんぽりに～ おはなをあげましょ もものはな～♪
♪ごにんぼやしのふえたいこ～ きょうはたのしいひなまつり～♪

幼稚園には、何年も前から受け継がれているひな人形があります。きっと、子どもたちのおばあちゃんやひいおばあちゃんの時代のものでしょうか。大切に…大切に…保管されていたものをいただいて、桃の節句の時期に合わせて飾りつけをします。

近頃では、“親王飾りのみのもの”や“親王飾りと三人官女という組み合わせのもの”が多いようで、実際に“五人囃子”や“右大臣・左大臣”が飾られると、立ち止まって興味深げに見入っている子もいました。

ひな祭りは、平安時代に行われていた『流しびな』（“紙人形”にけがれを託して川に流す）の風習や宮廷貴族がたしなんでいた『ひいな遊び』などが結びついて、現在のような形になっていったといわれています。桃の節句は、女の子の厄除けと健康を祈る行事です。



85年前のひな人形

そんな**日本の文化**を伝えながら、幼稚園では、“ひな人形作り”をしました。

子どもたちは、今まで体験してきた製作遊びの経験を生かして、素材を選んだり作り方を工夫したりして、自分らしいひな人形を完成させていました。

手先の器用な子、細かい作業の好きな子、いろいろなアイデアが次々と湧き出てくる子、何日もかけて丁寧に仕上げる子、そんな友達の真似をしながら体験を重ね自分の力にしてきた子…など、取り組み方も様々で、一人一人が違います。でも、**違うからこそ、それぞれのよさに気づき、刺激し合い、たくさんのことを学び合っていました。**



学びは“真似び”です。これからも、自分らしさを発揮しながら、友達のよいところをたくさん見つけて学び合ってほしいと思います。

完成したひな人形は、どの子のものも個性的で、見ていて楽しいものばかりでした。

自分らしく生き生きと

「今日は何する?」「中当てしようよ。」などと言いながら、自分たちで進んで準備をし、まとまってよく遊ぶようになりました。冷たい風の日にも“子どもは風の子”と元気いっぱい園庭に飛び出していきます。



友達とルールを伝え合い、思い切り体を使って、勝敗を楽しむことができるようになった年長さん。“大好きな仲間と一緒に遊びたい”という気持ちが、子どもたちの心を大きくたくましく成長させてくれました。



そして、自分のことだけでなく、まわりの友達の思いにも気付き、譲り合ったり、励まし合ったり、助け合ったりしながら、“**心を通わず心地よさ**”を味わってきました。

幼稚園では、子どもたちが自ら取り組む豊かな体験の中で、“**一人で歩いていく勇氣**”を、そして集団生活に大切な“**心の根っこ**”をしっかりと育ててきました。

4月からは一年生ですね。

小学校に入学すると、今までとは違って、自分ひとりで考え行動しなくてはなりません。**自立の第一歩**です。

入学までの期間で、子どもたちが安心して新しい生活に入ることができるよう準備をしてあげましょう。

★入学までに身につけておきたいこと★

- 決まった時間に起きる・寝る
- 自分のことは自分です
(一人で着替える、使ったものを片付ける、忘れ物がないように準備する)
- トイレに一人で行く
- 集中して食事をする
- 自分からあいさつをする(おはよう・ありがとう・ごめんなさい)
- 困ったことがあったら、自分で伝える
- 交通ルールを守って通学路を歩く



「なぜ?」と疑問に思ったり、わからないことを自分で調べたり、目標をもって挑戦したり…。**自ら物事に取り組み、見通しもって粘り強く“学ぼう”とする姿勢が、これからの未来を切り開いていく子どもたちに求められる力だ**といわれています。

その力を培うためには、**子どもが興味をもったことに大人も関心をもち、一緒に楽しみながら「面白い」「やりたい」「もっと知りたい」という気持ちにつなげていくことが大切**なようです。

“手をかけすぎず目をかける” “大きな耳で聞き優しい目で見守ってあげる”

そんなサポートができるとよいですね。子どもたちのそれぞれのよさに目を向け、たくさん誉めながら大きく大きく育ててあげてください。

子どもたちの輝ける未来を応援しています。

素敵な出会いに感謝します

今学期もたくさんの方々との交流の中で、“温かい心のつながり”を感じることができました。そして、幼稚園だけでは味わうことのできない様々な体験を通して、子どもたちの心は豊かになりました。

皆様のご協力に感謝いたします。



サッカーっておもしろいね！（サッカー教室）



一人あやとり挑戦（正月遊び）



赤鬼と青鬼がきた！（豆まき）



シュークリーム劇団とエクレア劇団の人形劇



寿会の方と一緒に。（ひな祭り会）

卒園の記念に...

年長組が、卒園の記念に、幼稚園正門右側のブロック塀をきれいにしてくれました。一人一人の思いが込められた素敵なプレゼントです。ありがとうございました。

世界で一つだけのペン立ても完成しました！

幼稚園の思い出と一緒に大切にね。



ありがとうございました！

「平成30年度卒園記念品」及び「バザーの収益金」で、講演台を購入させていただきました。

明日の卒園式より、大切に使用させていただきます。



♪みんなともだちずっとずっとともだち♪